



朝日ライフ アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 301 号
一般社団法人 投資信託協会会員 / 一般社団法人 日本投資顧問業協会会員

なぜ今、ソフトウェア銘柄を買うのか

過去 10 年、SaaS(ソフトウェア・アズ・ア・サービス)企業は、安定収益、高成長、高利益率、高い乗り換えコストを背景に高く評価されてきました。ハリス社も、売上維持率の高さや価格決定力といった特性を重視していましたが、市場の評価が株式報酬のコストを無視した非 GAAP の調整後利益に対する指標に基づいていたことや、極端に強気な成長が続くとの前提には懐疑的であったため、長年ソフトウェア企業への投資を抑制していました。

しかし 2025 年以降、生成 AI(人工知能)の台頭により市場の見方は一転して弱気に傾きました。「AI でコーディングコストがゼロとなり、参入障壁が消える」、「大規模言語モデル(LLM)がソフトウェアとの関わり方を変え、既存企業の優位性が低下する」といった懸念が広がり、ソフトウェア業界全体のバリュエーションは急落しました。さらに、GAAP(米国会計基準)ベースの利益を求め始めた市場に対し、多くのソフトウェア企業がそれを十分に示せていない点も売られる理由となりました。ハリス社は、こうした悲観論には部分的に理解を示しつつも、行き過ぎた評価だと見ています。

まず、「AI で企業が独自に CRM(顧客管理システム)や ERP(統合基幹業務システム)を構築できる」とする弱気論は、大企業が求める現実とかけ離れています。巨大企業がセールスフォースや SAP を選ぶのは、最先端機能ではなく、信頼性やサポート体制、巨大なエコシステムといった“業界標準の製品”であるためであり、スタートアップや社内開発では代替が困難であるためです。

次に、「AI が既存ソフトの優位を奪う」との見方については、ハリス社は逆に、AI 時代こそ既存ソフトの価値が高まると考えています。AI の能力は扱えるデータの質と量に依存するため、営業パイプラインや顧客情報、財務データなど膨大な専有データを保有するエンタープライズ・ソフトウェア企業には圧倒的な優位性があります。企業の基幹システムに蓄積され、構造化されたデータは AI 活用の中心的資産であり、AI の普及はむしろこれら既存アプリケーションの重要性を強めます。

ソフトウェア銘柄に対する市場の大きな売り圧力は短期的な悲観を反映したものであり、長期的な事業価値を十分に考慮していないとハリス社は判断しています。顧客の業務フローに深く組み込まれた重要なミッションを担うソフトウェアは簡単には置き換えられず、生成 AI の普及によってさらに価値を高める可能性もあります。現在の割安なバリュエーションは、ハリス社の質と価格の基準を満たす企業を購入する好機として、ハリス社はソフトウェア銘柄への投資を選択的に増やしています。

ジェレミー・テムズ

ハリス・アソシエイツ社 米国副リサーチ・ディレクター、米国インベストメント・アナリスト

※上記コメントは、将来の市場環境等の変動により、変更される場合があります。

■当社がハリス・アソシエイツ社に運用を委託している各ファンドと、同社が米国で運用するファンドの投資哲学や基本的な運用方針等は共通のものです。当社では、当社が提供する各ファンドの運用内容をお客様がご理解頂くうえで有益と思われる情報を提供して参りますが、当該ファンドの勧誘を目的とするものではありません。

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元金が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。

又、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては投資信託説明書(交付目論見書・商品説明書)をよくご覧ください。

■投資信託に係る手数料等について

[ご投資頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。]

■申込時に直接ご負担いただく費用 …… 申込手数料 上限 3.3%(税抜 3.0%)

■換金時に直接ご負担いただく費用 …… 信託財産留保額 上限 0.3%

■投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

…………… 信託報酬 上限 2.035%(税抜 1.85%)

■その他の費用 …… 上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書・商品説明書)でご確認ください。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率等につきましては、朝日ライフ アセットマネジメントが運用するすべての投資信託が徴収するそれぞれの費用のうち、最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書・商品説明書)をご覧ください。

本資料は、朝日ライフ アセットマネジメントが、提携先であり、運用を委託しているハリス・アソシエイツ社が作成した資料をもとに、同社の情報提供を目的として、日本のお客様向けに日本語に要約したものです。したがって、特定の金融商品の勧誘を目的としたものではありません。本文中に特定の銘柄についてのコメントがある場合、当該銘柄についての投資の助言や取引の推奨を行うものではありません。また、法令に基づく開示資料ではありません。資料の記載事項については資料作成時の執筆者の見解であり、将来予告なく変わることがあります。

2025-02-1750